

2016年11月1日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

「時間分散型バランスファンド(安定指向)2016-11」

〈愛称:ステップ・ラップ(安定指向)2016-11〉

「時間分散型バランスファンド(成長指向)2016-11」

〈愛称:ステップ・ラップ(成長指向)2016-11〉

～ 今年8月設定の「2016-08」に続く第2弾、三井住友信託銀行が11月1日募集開始～

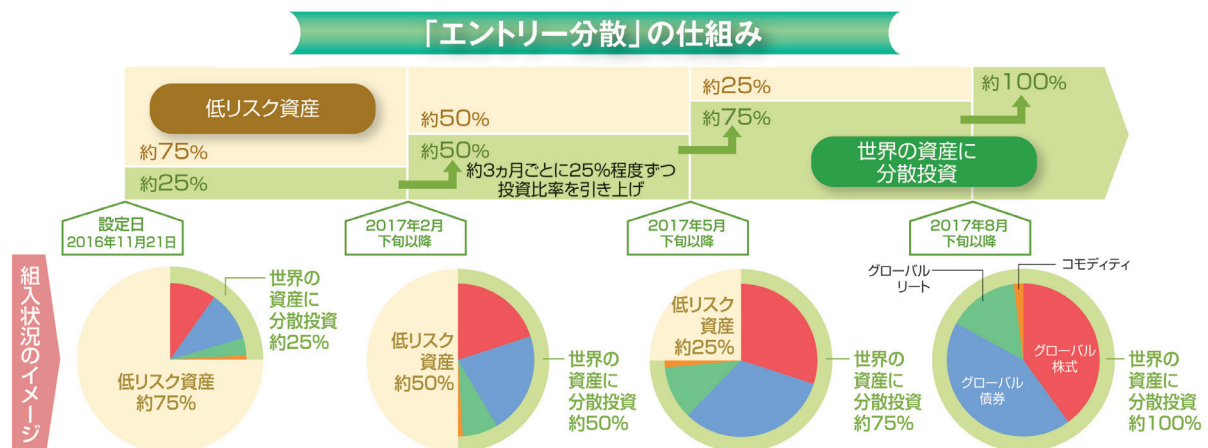
日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、資産分散に加えて投資タイミングを分散する限定追加型投信「時間分散型バランスファンド(安定指向)2016-11〈愛称:ステップ・ラップ(安定指向)2016-11〉」および「時間分散型バランスファンド(成長指向)2016-11〈愛称:ステップ・ラップ(成長指向)2016-11〉」の2ファンド(以下、総称して「ステップ・ラップ」)を11月21日に設定、運用を開始する予定です。三井住友信託銀行株式会社が11月1日から募集を行ないます*1。

「ステップ・ラップ」は、主として、日本を含む世界の資産(株式、債券、不動産、コモディティ(商品)など)を投資対象とします*2。値動きの異なる複数の資産に、投資タイミングを分散して投資することで、価格変動リスクの軽減などを図りながら、信託財産の成長をめざします。なお、「ステップ・ラップ」の信託報酬は、純資産総額に対して年率0.9936%(税抜0.92%)以内を乗じて得た額です。

投資タイミングを分散

「ステップ・ラップ」では、投資タイミングを分散する「エントリー分散」により、下落局面での大きな損失の発生を抑制を目指します。

「エントリー分散」では、世界の資産への分散投資を、設定当初は純資産総額の25%程度から開始し、その後、約3カ月ごとに25%程度ずつ段階的に引き上げます*3(設定日から約9カ月が経過した後は、世界の資産への投資比率を高位に保つことを原則とします)。



*1 「エントリー分散」の仕組みは、「安定指向」「成長指向」とも同様です。なお、世界の資産への分散投資における資産配分比率は、「安定指向」と「成長指向」で異なります。
 *2 低リスク資産は、内外のソブリン債を投資対象とし、外貨建資産については為替ヘッジを行なうことで為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、為替ヘッジを行なうことに伴い、為替ヘッジコストがかかります。
 *3 上記は「エントリー分散」の仕組みについて説明するためのイメージ図です。
 ※市場動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

*1 当初申込期間は2016年11月1日～同11月18日、継続申込期間は2016年11月21日～2017年1月31日です。

*2 世界の資産への投資は、各資産を主要投資対象とする投資信託証券を通じて行ないます。

*3 その他の資産については、低リスク資産による安定的な運用を行ないます。

「ステップ・ラップ」では、お客さまの運用目的やリスク許容度に応じて、安定性を重視する「安定指向」と、安定性および収益性のバランスを重視する「成長指向」の2つのファンドからご選択いただけます。

また、1万口当たり基準価額(税引前分配金控除後)が、2026年6月30日以前の営業日に13,000円以上となった場合には、投資信託証券への投資比率を引き下げ、短期公社債などによる安定運用に移行後、繰上償還します。

日興アセットは今後も、投資環境の変化を迅速に捉えた質の高い商品の開発と優れた運用パフォーマンスのご提供に努めてまいります。

以 上

■手数料等の概要

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

- 購入時手数料： 三井住友信託銀行における購入時手数料率は、1.62%（税抜 1.5%）です。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料： ありません。
- 信託財産留保額： ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

- 信託報酬： 純資産総額に対して年率 0.9936%（税抜 0.92%）以内を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。
信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率 0.8964%（税抜 0.83%）、投資対象とする投資信託証券の組入りに係る信託報酬率が年率 0.0972%（税抜 0.09%）以内となります。
受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
- その他費用： 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率 0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬（有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に 0.54（税抜 0.5）を乗じて得た額）などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※組入る有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■リスク情報

投資者のみなさまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）のみなさまに帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券、株式、不動産投信およびコモディティ連動証券を実質的な投資対象としますので、債券、株式、不動産投信およびコモディティ連動証券の価格の下落や、債券、株式および不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産、商品（コモディティ）の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者のみなさまに「時間分散型バランスファンド(安定指向)2016-11(愛称:ステップ・ラップ(安定指向)2016-11)」および「時間分散型バランスファンド(成長指向)2016-11(愛称:ステップ・ラップ(成長指向)2016-11)」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した資料です。
- 当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

約 60 年に及ぶ実績を誇り、30 以上の国・地域から集まる人材を世界 9 カ国・地域に擁して、200 名超の運用プロフェッショナルが約 16.9 兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計 300 社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2016 年 6 月末現在のデータ

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会